

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学 2 C ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study 2 C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義、オンライン(Teams、ZoomまたはMoodle)
担当教員	此松 昌彦、出口 竜也、竹林 浩志、鈴木 裕範、ゲスト講師		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月17日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師: 今井ひろこ氏)
	② 11月28日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師: 此松武彦氏)
	③ 12月19日(土) 13:00～17:00	観光学部	竹林浩志 (ゲスト講師: 横山昌太郎氏)
	④ 1月9日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師: 福村成哉氏)
	⑤ 1月16日(土) 13:00～17:00	鈴木裕範 (非常勤講師)	
	⑥ 2月13日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師: 山田桂一郎氏)
【授業のねらい・概要】			
<p>「熊野郷土学 2 C」では、熊野郷土学で今まで学んだ自然、文化、歴史、民俗、経済史、災害史、地域経営という観点から価値のある地域の人々の暮らしを学んできた。それを活用して将来への可能性を考えることをテーマにする。そのために他地域と比較しながら、自分たちの価値を深めるエコツーリズムをはじめ、地域資源を活用するジオパーク、郷土食の活用、また紀伊半島を訪れる外国人が増えてきたことから、宿・民泊が地域と地域外のコミュニティのハブ的な役割を持つようになってきている。それらを総合化して地域を運営することとは何かを学びます。また最後の回でコロナ禍後にできることについても皆さんと議論していきます。学生、自治体職員、地域づくり関係者、観光商工関係者、地域ガイド、ジオパーク関係者、教育関係者、Uターン者など、幅広い分野からの受講を期待します。</p>			
【授業計画】 ※記載の講義順や内容は変更することもあります。			
<p>第1回 ガイダンス・「地域資源の価値をどう地域経営に活かすのか?」「Googleマップ情報の活用事例と今後」 教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師: 今井ひろこ氏 コムサポートオフィス)</p>			
<p>第2回 「インバウンドと地域コミュニティの入り口として、宿・民泊のこれからのスタイル」 観光学部 出口竜也 (ゲスト講師: 此松武彦氏 インバウンドライター)</p>			
<p>第3回 「郷土資源の価値と商品化のとりべき戦略とは」「地域資源を活用した地域住民向けのエコツーリズム」 観光学部 竹林浩志 (ゲスト講師: 横山昌太郎氏 森林インストラクター・博士(農学))</p>			
<p>第4回 南紀熊野ジオパークセンターの見学をネットによりおこなう予定。 「世界の中の南紀熊野、南紀熊野ジオパークからの地形・地質・風土」 教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師: 福村成哉氏 南紀熊野ジオパークセンター研究員)</p>			
<p>第5回 「暮らしの視点からの地域文化の再評価と創造」鈴木裕範非常勤講師 地域のアイデンティティである地域文化の多くが、コミュニティの変容、暮らしが揺らぐ中で、喪失と忘却の危機に立っている。伝統的な暮らしが育んできた地域の物語を捉え直し継承することの意義と可能性を考える。</p>			
<p>第6回 「エコツーリズムの視点で見る郷土の資源の商品化から地域経営を考える」 観光学部 出口竜也 (ゲスト講師: 山田桂一郎氏 JATIC.SWISS)</p>			
【到達目標】			
紀伊半島の産業について考え、自らのことばで語るができる。またそれらの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。			
【教科書】			
特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。			
【参考書】			
<p>「観光立国の正体」藻谷浩介、山田桂一著 新潮新書 講義時に適宜、紹介します。(学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。) 出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。</p>			
【授業時間外学習】 (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)			
紀伊半島の郷土や産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。			
地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。			
【履修上の注意・メッセージ】 ※記載の内容は変更することもあります。			
基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が地域の暮らしにどうつながるのか考えてみてください。			
※この授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。			